第23号
2017年1月

季刊 えこびと

エコットフォーラム 2016 の様子（P4 に続く）

Ｐ＆Ｐ特選句　10 月　三河路や山河匂へる秋の風（智）
11 月　古書店の街たもとほる文化の日（虹村）
12 月　越中の寒気連れ来る薬売り（智）

特 集 **新代表挨拶　／　新体制について**

エコなかま　　グリーンマップ
エコットフォーラム 2016 レポート
活動レポート
読んで得するエコねた　地球を守るピンクの戦士
エコびと紹介　深見美保子さん
エコ人からのお知らせ
事務局便り

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています。

特　集　　新代表挨拶 / 新体制について

代表理事辞任の挨拶

坂本（さかもと）　竜児（りゅうじ）

このたび、NPO 法人とよたエコ人プロジェクト代表理事ならびに豊田市環境学習施設 eco-T の責任者を辞任させていただきました。 もともと、環境分野の市民活動の支援と実践を自分のテーマに、「誰もやらないこと」に取り組んできました。私自身としては、eco-T の取り組みはひと段落としてとらえ、今後もテーマはぶれずにひたむきに活動を続けていきたいと考えています。みなさまと今後もかかわる機会が多々あると思いますので、引き続きご支援を頂けますようよろしくお願いします。

新代表理事挨拶

横井（よこい）　純夫（すみお）

このたび代表理事を仰せつかりました横井純夫です。2011 年にインタープリターとして eco-T デビューをし、2013 年から「エコ人」の理事を務めさせていただいています。会員の皆様には、日頃より当法人の活動にご支援を頂きありがとうございます。

さて、主たる活動の一つ eco-T は、今年１０周年を迎えます。“42 万人のエコライフ” を目指した理解活動も、見学対応、イベント等により延べ 42 万人に達すると期待しています。今後も、活動の充実を図り、新たな活動にも取り組んでまいります。

そして、皆様とともに、環境モデル都市にふさわしい「エコ人が創るエコ街エコ社会」を実現したいと思います。ご指導・ご支援の程よろしくお願いします。

新副代表理事挨拶

守随（しゅずい）　純子（じゅんこ）

この度、新米理事にも関わらず副代表の重責を頂き身の引き締まる思いです。
私は、インタープリターではありませんが、子ども達に体験を通した環境教育を長年行なっています。

また、NPO 相談員、共働事業コーディネーターとして、非営利組織のマネジメントに関わってきました。これらの経験がとよたエコ人プロジェクトの運営にも活かせるよう努力します。

新事務局長挨拶

本田（ほんだ）　昭二（しょうじ）

eco-T は、事務局長候補とスタッフを１名採用しました。今後は労務管理の整備、『風通しの良い職場づくり』を推進して職員が個々の能力を最大限に発揮できる体制づくりを進めています。

会員の皆様には、是非温かく見守って頂くとともに、ご指導、ご鞭撻頂きますようお願い申し上げます。

★グリーンマップって何？

グリーンマップとは、住んでいる地域の中で環境に良い所、悪い所をまち歩きをしながら自分たちで調べ、世界共通のアイコン（絵文字）を用いて環境マップを作る活動のことです。マップを完成させて終わりではなく、街づくりのツールとして環境をより良くするために活用することができます。

1992 年にブラジルで行われた地球サミットで提唱され、ニューヨークで活動がスタートしました。日本では 1997 年に京都で始まり、2005 年愛・地球博では世界中の多くのマップが展示されました。「地球市民村」などで見た人もいるのではないでしょうか。

★eco-T のグリーンマップの特徴は？

豊田市でもグリーンマップの活動拠点をという話があり、eco-T が受け継いで今に至っています。eco-T では、まちなかを歩くことはもちろん、交流館周辺を歩いたり、学校の通学路を点検する講座を開いたりしてきました。「気づきから行動へ」に繋がるような活動を目指しています。

（eco-T で作成したマップ）

★最近の活動は？

11 月 25 日（金）に「徳川 400 年の松平を歩く」のテーマで参加者を募り、まちあるきを行いました。徳川家の菩提寺である高月院を中心に、青空に鮮やかな紅葉が映える中を１時間程度歩きました。

（まち歩きの様子）

高月院の住職さんのお話を聞き、松平東照宮の天井画を鑑賞しました。お昼には、地元のお蕎麦屋さんで山里の料理を味わい、心もお腹も満たして帰路につきました。徳川家の歴史を肌で感じられる楽しいまち歩きになりました。

eco-T に帰ってからマップ作り。話し合いをしてみると１人１人違った目線があり、おもしろかったです。いろいろな角度からまちを見て、素敵なマップを完成させました。**みなさんもぜひ、私たちとまち歩きをしてグリーンマップを作ってみませんか？**（インタープリター　長嶋一枝）

（まち歩き記念写真）

エコットフォーラム 2016 レポート

地球温暖化時代の到来

2016 年 12 月 11 日

eco-T では、年に一度、eco-T に関係する人や環境に関心を持つ人が一同に会し、これからの活動やライフスタイルのあり方を考える「エコットフォーラム（講演会）」を開催しています。

昨年度は「市民による学びの場の創出」と題して、東京おもちゃ美術館館長の講演会などを行いました。

今年度は 10 回目を迎え、あらためて「地球温暖化」にスポットをあて、これからの社会のあり方を考える機会となるエコットフォーラムを開催しました。

【ミライを創る力を育む人づくり】

杉浦正吾さん

（杉浦環境プロジェクト株式会社代表）

eco-T が開館してからの 10 年を考えても、台風の襲来、熱中症の増加など、気候変動の影響をより感じるようになってきました。

環境学習施設としての役割やあり方を見直す意味もこめて、杉浦さんが取り組まれている「サス学」についてお話いただきました。

社会でおきていることを「ジブンゴト」としてとらえ探究していく学びの形は、まさに持続可能（サステナブル）な未来のためのアプローチです。

【適応策と緩和策を地域づくりに】

白井信雄さん　（法政大学教授）

最近よく耳にするようになった「緩和策と適応策」。実はよくわからないんだよね、という声も。

地球温暖化に由来する気候変動に対して、温室効果ガスの排出削減や再生可能エネルギーの普及拡大など、「温暖化が進むのを止めよう」というのが「緩和策」。

最大限の緩和策を行っても避けられない気候がもたらす悪影響へ対策をしようというのが「適応策」。防災、熱中症への対策、農作物の品種対策なども適応策です。

白井先生からは、近年の気候の状況に加え、高齢化やライフスタイルの多様化などを見据えた「地元学」への展開もお話いただきました。

平成 29 年度には、豊田市第８次総合計画のもと環境基本計画を新たに策定。豊田市環境政策課より現在の進捗や方針の説明がありました。

深刻さを増す地球温暖化。個人個人の意識だけでは解決できない状況になっていますが、地域や家庭のようなコミュニティのなかでの活動や教育のあり方や多様で豊かなライフスタイルを認め合う社会のあり方を見つめなおす機会になりました。

（eco-T 事務局　福間陽子）

くらしの環境学習推進校に取り組んでくれた小学校の学習成果も掲示しました。力作ぞろい！

●レポート１――――――――――――――――――――>

いなかとまちの文化祭

<――――――――――――――――――――――――――――

11 月 20 日（日）に T-FACE１F シティプラザにて、いなかとまちの文化祭が行われました。とよたエコ人プロジェクトを始め、多くの団体や人が関わっているこのイベントは今回で５回目となりました。「まちといなかの心をつなぎたい、まちの中にいても豊かさを感じられる暮らしを提案したい。」という想いから始まったイベントです。

イベントの様子

会場には、地元の食材を使った田舎汁や五平餅の販売ブース、地元農家の野菜やお菓子の販売ブース、木材を使った工作をするブースなどバラエティに富んだブースが出展されていました。さらに、ステージではもんぺのファッションショーや音楽ライブがあり、とてもにぎやかで、心温まるイベントとなりました。

eco-T としても積み木広場を出展し、たくさんの親子が遊んでいってくれました。今回のイベントを通して、たくさんの人がいなかでの暮らし方に親しみを持ってもらえればと思います。

（eco-T 事務局　住田雄佑）

（積み木広場の様子）

●レポート２――――――――――――――――――――>

10 周年記念事業

<――――――――――――――――――――――――――――

eco-T は今年開館 10 周年を迎えます。10 年の歴史を振り返るとともに eco-T の将来につながるような企画案をみんなで出し合い、いくつかの事業をスタートさせました。今回はその 10 周年記念事業を簡単に紹介します。

【渡刈クリーンセンターの壁を絵・写真で飾ろう】

豊田市の小学校のこども達に描いてもらった環境に関する絵や、地域の写真を工場の壁に掲示します。

【夜の渡刈クリーンセンター見学ツアー】

夜間に渡刈クリーンセンターの見学をするツアーを行います。

【展示室の充実】

eco-T の展示室を改善します。現在、ごみの分別、温暖化のブースなどの見直しを進めています。

【新かみしばい製作】

現在使っている『おかえり』とは別の、新しい紙しばいを製作します。どんな紙しばいができるか今から楽しみです。

【10 周年誌の発刊】

eco-T 誕生から 10 年の歩みをまとめた記念誌を作ります。

【花いっぱい運動】

花を飾り、eco-T10 周年をお祝いしようという企画です。屋内には、はぎれを使ったチューリップ、屋外にはメンバーが育てた花を飾り、来館者を迎える予定です。

他にもいくつかの事業が進行中です。10 周年の eco-T を楽しみにしていてください。

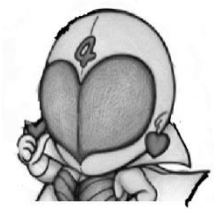
（eco-T 事務局　本田昭二）

花いっぱい運動ミーティングの様子

eco-T インタープリター

読んで得するエコねた

本多 慶子さん



♥地球を守るピンクの戦士♥

2014 年 11 月「太陽光発電組み立て講座」に参加し、（季刊えこびと１５号で紹介）あれから2年・・・さて、あのソーラーパネルは、どうなっているのか、その後を追ってみました。

◆そもそも講座に参加されたきっかけは？

東日本大震災の時に「携帯電話で通信ができない」とか、「電池がない」などの状況を知り、災害時の備えとして講座に参加しました。今やスマートホンやパソコンが必須の時代、しかし、これらは電気が無ければ何の役にも立ちません。だからこそ電気の必要性を感じました。

そして、電気と言えば電灯も重要です。暗さは不安につながり、灯りがあるだけで気持ちが変わります。電気が全く無くなった時に怖さを感じ、不便さを実感すると思います。

◆現在どのようにソーラーパネルを活用していますか？

50W のソーラーパネルですから大きな家電は無理ですが電球１つくらいは点きます。主にスマートホンやｉPad、パソコン、充電池、ハンディークリーナーなどを充電しています。２年前に比べてバッテリーがフル充電できなくなっているのが気がかりですが工夫しながら使っています。

通常は壁のコンセントにさせば簡単な事ですが『電気を自分で作る我が家の発電所』では固定せず移動式にしているので「毎日パネルを玄関先に出して太陽の光をいっぱいに浴びさせる」というひと手間が掛かります。犬の散歩みたいなもので愛着があり楽しいです。年金生活者には 47，800 円の講座参加料は高額でしたが、「今日はどのくらい発電したかなあ」と楽しみを得ることができ、価値ある買い物だったと思います。

また、車に載せて移動先でも使うことができるので、一家に１台、救急箱と同じ感覚でおススメです。今では、もう１台あっても良いと思っています。

◆自然エネルギーへの想いは？

毎日パネルを見ていると、ソーラーグッズに興味を持ち始め買い集めました。いろいろな考え方があると思いますが、一般的にはソーラーパネルと言えば、屋根の上にある高価な設備を思い浮かべますが、災害時に本当に無事に活用できるのか・・地震で断線するかもしれないと心配です。また、後に莫大なパネルを廃棄するエネルギーも必要になります。国は今どんどん進めていますが老後の負担になりはしないだろうか。たった一枚のコンパクトなソーラーパネルだからこその良さもあると思います。

コストを考えると高いのかもしれませんが、これからは環境のことを考えていく必要があります。主人はケチケチしていると言いますが『私は地球を守っているんだよ』と言って電気を切って歩いています。寒ければ一枚着て、暑ければ、うちわで扇いで・・・エネルギーの選択肢は、いっぱいある方がいいと思います。電気オンリーよりもガス、そして太陽光。最終的には薪ですか？（笑）

◆eco-T にひとこと

環境問題では、どれが真実か知る力が必要だと思います。たくさんの情報が溢れる時代だからこそメディアに振り回されないように日々アンテナを張っている事が必要です。eco-T で今後もさまざまな講座を企画し、市民に情報を発信してください。

私自身も日々eco-T で得る情報の積み重ねが知識の深さにつながりました。環境委員、家電コンシェルジュ、省エネエキスパートとしても役立っています。eco-T の玄関前にもソーラーパネルが２つ置いてありますが、それをもっと活用してほしいな。

（インタビュアー　赤坂洋子）

エコびと紹介

平芝前自治区ふれあいサロンゆう遊会
代表　深見 美保子 さん

☆深見美保子（ふかみみほこ）さんのプロフィール

平芝前地区に住んで 30 年。ふれあい祭りやバーベキュー大会など皆であつまってワイワイ楽しむことが好きな住民が多いです。高校の英語教師をしながら地域とも関わり、人と人をつなぐふれあいサロンゆう遊会の代表を務めています。

☆ふれあいサロンゆう遊会とは？

平芝前自治区ふれあいサロンとして誕生したゆう遊会は女性の親睦会としてスタート。単なるお茶飲み会ではなく「まなぶ」「つくる」「うごく」を基本に月１回活動を続けて 15 年になります。50 代～80 代までの約 45 人が登録。常時 25 人前後の参加があります。勉強会の内容によっては男性の参加もあります。

☆28 年度共働事業提案制度「雑紙分別大作戦」

活動の中からゴミ問題に興味がわき、自分たちにできることはないかと、まず「共働によるまちづくり講座」を受け、応募申請、審査会を経て雑紙回収袋「カミン袋」の製作を提案。28 年度共働事業として「雑紙回収袋の作製」「啓発活動」「広報活動」の事業内容が採択されました。回収袋は「部屋の中においてもおしゃれだと感じる袋」「繰り返し使えること」「赤ちゃんを抱っこしているお母さんでも持てる持ち手の長さ」「できるだけ安く作りたい」などの女性らしい発想のコンセプトのもと片面はグリーン、反対は赤の写真の様な素敵な「カミン袋」が出来上がりました。カミン袋の「カミン」とは「come in」「紙イン」などの思いが込められています。取材のために深見さんのご自宅に伺った日がクリスマスイブ。なんとカミン袋がクリスマスディスプレとしてお部屋に素敵に君臨していました。

☆共働事業を成功させた要因は？

平芝前自治区をあげて協力・連携して取組んだことです。最初は「ややこしいことはごめん」「お金を出すことはできない」ということでした。みんなと相談をしながら面倒な書類づくりは自ら担当しました。費用は共働事業なので心配ないことを説明。自治区を巻込んだ「リサイクル活動、啓発や広報活動」が始まり、着実に雑紙回収が増え、４月当初は 60kg だったのが 12 月は 220kg の最高を記録。目に見えるリサイクル活動では協力する住民も分かりやすく、意欲もわいてきます。深見さんの目標は 230kg です。

そしてスローガン「家族一緒に　できることから　少しずつ」という活動に対する姿勢がみんなに受け入れられたのだと思います。市との共働事業と言うと気負ってしまうが、いつもの暮らしにちょっとプラスという感じで活動されています。

☆最後に読者へのメッセージ

今後、カリスマ主婦たちと共に生活の知恵や文化の伝承の発信をしたいと思います。そのためにも「仲良くすること」「オープンな関係」を築くことが大事です。そして若い年代の人にも参加して欲しいと考えています。変わらない大切なものが人から人へ、世代から世代へつながっていくことが願いです。

まだまだ尽きることのない可能性をいっぱい持った深見さんの温かい笑顔がすばらしかったです。（インタビュアー　守随純子・赤坂洋子）

エコ人からのお知らせ

『楽しい＆エコ』なくらし、いっしょにはじめましょ♪

新規会員募集中！

〔会員特典〕

- 季刊誌「えこびと」を年４回お届けします。
- 会員メーリングリストに登録できます。講座やイベント、世の中のエコ情報が届きます（不規則）。
- 講座やイベントに会員特典（参加費の割引など）を受けられることがあります。
- e-cafe チケット３枚プレゼント！
  コーヒーを飲みながらエコ井戸端会議
  eco-T で毎週木曜日に開催しています。

＊入会方法については、お気軽にスタッフや理事にお問合せください。

〔会費〕

正会員	10,000 円（議決権あり）
賛助会員	一　般　1,000 円／口 学　生　500 円／口 非営利団体　3,000 円／口 営利団体　10,000 円／口

＊エコ人の年度は６月～５月です。

〔現在の会員数〕

正会員 21 人、賛助会員 47 人・３団体

〔行事予定〕

○３月
- ４日　エコットクッキング ～春のお弁当～
- 18 日　かんたんエコ手芸教室 ～和服をリメイクしよう！～
- 26 日　もった博士のかがく倶楽部 ～にぼしの解剖～

○４月
- 日付未定　事業計画説明会

などなど！
詳しいことは eco-T 事務局まで！

新しいスタッフの紹介

■長内隆久（おさないたかひさ）（11/１入社）

こんにちは！埼玉県川越市から豊田市に引っ越してきました。趣味は“まち歩き”をすることです。知らない道を歩いていろんなことを発見するのが楽しいです。

自らエコライフを実践しながらそれを勧める案内人として、頑張っていきます。よろしくお願い申し上げます。

編集後記

明けましておめでとうございます。今年は eco-T 開館 10 周年を迎えます。忙しい１年になるとは思いますが、盛り上げていきます。とよたエコ人プロジェクトも新体制になったので、フレッシュな気持ちでまた今年１年頑張っていきたいと思います。

会員のみなさまのお力もぜひお貸しください。本年もよろしくお願いします。

（eco-T 事務局　住田雄佑）

発行・編集　NPO 法人 とよたエコ人（びと）プロジェクト

〒471-0025　愛知県豊田市西町 1-88 カニックビル５階
TEL：0565-50-5684　FAX：0565-50-5568
メール：info@t-ecobito.jp
ホームページ：http://t-ecobito.jp/

最新情報はホームページへ

とよたエコ人　検索